※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和５年度　芸術科（美術）

教科	芸術Ⅰ	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術にはさまざまな表現方法がありますが、美術Ⅰの授業では『自分で考える』ということを大切にしています。一人ひとり、自分なりの思いやものの見方、感じ方は違うけれど、作品制作を通じて『自分を知る』ことができます。美術の基礎を学習しながら、創作の過程で『自分らしさ』を一緒に見つけていきましょう。
・絵具を使った実習では、色彩について基礎から学習します。色のイメージやその効果を知り、その美しさや楽しさを味わいましょう。彫刻の実習では素材に触れた時の感動や、手作業の面白さ、難しさを知り、創造の素晴らしさに気付いてほしいです。
・授業の中では、グループ学習や発表も含まれます。鑑賞の授業では『他者の感性や考え方を知る』ことのできる、いい機会です。個々の感性や表現力を高めることだけでなく、芸術作品や友達の作品鑑賞を通じてイメージの的確な表現や技法、独創性や発想力、造形的な視点に触れ、美術を楽しんでいきましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することをめざす。

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し創造的に表すことができるようにする。
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に着け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に美術の幅広い表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期						
1学期	オリエンテーション	「鑑賞」 ・美術とは何か ・作品鑑賞 ・グループワーク ・発表	a:造形の要素の働きを理解し、全体のイメージや作風、様式などを自分なりに捉えることを理解している。 b:多様な作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:美術の多様な表現に関心を持ち、今後の学習に意欲を高めている。	ワークシート	ワークシート グループワーク 観察	観察 発表 ワークシート
	さまざまな描画材料／いろいろな絵の具	「技法」「絵画」 ・描画材料の種類と性質 ・顔料と染料 ・顔料と様々な展色材 ・水彩絵の具 ・油絵の具	a:意図に応じて描画材などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、見通しをもって創造的に表している。 b:造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的に表現材料としての描画材料や絵の具に関心を持ち、今後の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 観察 作品	観察 作品 ワークシート
	色彩の基礎	「色彩学習」 ・色彩理論 ・混色演習(24 色相環、明度・彩度・補色の混色) ・日本の伝統色	a:形や色が人の感情にもたらす様々な効果について理解するとともに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。(知) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って表現の創造活動に取り組もうとしている。(技) b:造形的なよさや美しさを感じ取り、伝えるための創造的な表現の工夫を捉えるなどして、見方や感じ方を深めている。	ワークシート 小テスト 作品	ワークシート 観察 作品	

※令和４年度以降入学生用

			c：主体的に色彩のよさや美しさを感じ取り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。			観察 作品 ワークシート
	色彩による表現と構成	「デザイン」「鑑賞」 ・色やイメージの言語化 ・混色技法 ・対比と配色 ・配色計画 ・色面構成によるイラストレーション ・相互鑑賞	a：形体や色彩などの性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、配置や画材の工夫など造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。（知） 意図に応じて描画材などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。（技） b：感じ取ったことや考えたことなどを基に、イラストレーションのよさや美しさ、伝えたい内容を表すための表現の工夫を考えて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。（思） 造形的なよさや美しさを感じ取り、伝えるための創造的な表現の工夫を捉えるなどして、見方や感じ方を深めている。（鑑） c：主体的に色彩のよさや美しさを感じ取り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	観察 作品 ワークシート
2学期	鑑賞	「鑑賞」 ・大阪府高等学校美術・工芸展（高校展）鑑賞 ・レポート	a：作品の構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などを自分なりに捉えることを理解している。（知） b：多様な作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c：　作品鑑賞を通して様々な作品に興味を持ち今後の学習に意欲を高めている。	レポート	レポート	レポート

※令和４年度以降入学生用

	鉛筆デッサン	「絵画・彫刻」「鑑賞」 ・幾何形体（立方体） ・自然物（ピーマン） ・相互鑑賞	a：線や明暗による表現の効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。（知） 意図に応じて鉛筆などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。（技） b：対象から感じ取った印象や特徴などを観察し、線や明暗による表現の効果を考えたことなどから主題を生成し、形や質感、立体感などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 c：線や明暗による表現の効果を考え、工夫してあらわす創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	観察 作品 ワークシート
	彫刻技法と表現	「彫刻」「鑑賞」 ・カービング ・モデリング ・ピーマンの塑像 ・着彩 ・相互鑑賞	a：形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。（知） 意図に応じて、粘土などの材料の特性を生かし創意工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。（技） b：対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。（思） c：塑像による表現の特性、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	観察 作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３ 学 期	油彩画制作	「絵画」「鑑賞」 ・油彩画の歴史 ・油絵の具の材料と性質 ・画材と用具の扱い方 ・鉛筆デッサン ・油彩画「自分の手を描く」 ・相互鑑賞	a：光や陰影の効果を意識しながら、自分の手指の形体や構造、質感、色彩などの性質や造形的な特徴を基に、その美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。（知） 意図に応じて油絵の具や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫して創造的にあらわしている。（技） b：対象の特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や色彩、質感などを考え、創造的な構想を練っている。 c：対象の特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	観察 作品 ワークシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度